

第1学年SAI

教員用 授業の流れ（班活動1/4）

- 1 授業実施場所
#教室
- 2 生徒の持ち物
筆記用具、タブレット、課題研究メソッド、SAIファイル
- 3 授業展開例 ※机上に配布した出席名簿で出欠を確認してください。

	時間	学習内容・発問例	教員の指導・留意点
導入	5分	●本時の目的・日程・注意事項を確認する。 「本時から、いよいよ本格的にグループ活動を行っていく。1年間学んできた“問いをたてるまでのプロセス”をよく思い出し、メンバーとコミュニケーションを取りながら進めていく。 また、本時と31日(金)は豊田市職員の方々が来校され、外部機関に相談ができるチャンスである。少しでも必要だと感じたグループは、積極的に活用すること。」 ●ワークシート「問いのブラッシュアップ」を配布する 「まずはワークシート右上の、今後の日程を確認。 本時を含めて1年生の授業としてはあと4時間。最終日に到達したい目標は下線部にあるように、“明らかにしたい問いを決め、研究の計画を立てるところまで行く”である。」 「本時はまず、ワークシート左半分を使って、①メンバーが取り組んできたこと、立てた問いを一覧にし、そこから②それらを踏まえて再度クエスチョンマッピングを展開して、問いをメンバーで深めていくこと。よく会話して意思疎通を図り、お互いの興味関心を擦り合わせていくこと。」	・豊田市職員の皆さんは生物室にて待機して頂くので、時間内は適宜必要な班を向かわせてください。 ・次時（31日）は、29日(水)成果発表会の振り返りを主に行う。 ・次は3月になってしまうので、できる限り本時と次時でよくコミュニケーションを取り、「興味関心の洗い出し」を行うよう促してください。
展開	40分	●作業開始 ・豊田市職員の方の元へ行きたいグループは、自分たちのタイミングで生物室へ向かう。メモをする準備や、多少待つこともあると思うので、ワークシート等も一緒に持っていく。 ・豊田市職員の元へ行かない生徒は、とにかく教室でワークシートに倣って作業を進める。 ・本時は①は確実に、②は思いつく限り。班の状況によるが、③までやれると理想的。	・「自分たちのやりたい研究が、官公庁と繋がっておくことでより具体的になるかも?」、「この分野における豊田市の現状は?」など、直接聞けるチャンスなので物怖じせずに聞きに行く。 ・他愛もない会話からヒントが生まれるかもしれないので、よく会話し、手を動かすよう指示してください。
まとめ	5分	☆29日(水)の成果発表会で、2年生のどんな部分に注目したいか、どんな情報を得たいかをよく共有しておくこと。 「批判的な見方」も必要である。 ●片付け、まとめ ・ワークシートはSAIファイルに挟んでおく。	・改めて、自分が行く教室を掲示物で確認しておくよう促してください。

4 担当者

担当					
ハッシュタググループ	① 環境・エネルギー	② 自然・生物・農業	③ 機械・建築	④ 健康・福祉・医療	⑤ 学び・教育
#教室	1－1	1－2	1－3	C 1 A	1－4

担当				
ハッシュタググループ	⑥ スポーツ・パフォーマンス	⑦ 心理学・人間行動	⑧ 社会・国際	⑨ 経済・ビジネス
#教室	1－5	音楽室	1－6	1－7

担当		
ハッシュタググループ	⑩ A 芸術・文化・メディア	⑩ B 言語・歴史・政治
#教室	1－8	1－6

第1学年 S A I

教員用 授業の流れ（班活動2/4）

1 授業実施場所

#教室

2 生徒の持ち物

筆記用具、タブレット、課題研究メソッド、S A I ファイル（29日のメモ）

3 授業展開例

	時間	学習内容・発問例	教員の指導・留意点
導入	3分	●本時の目的・日程・注意事項を確認する。 「本時は、基本的に前時の続きを行っていく。前時に続き、豊田市職員の方々が来校されていて相談ができる。必要だと感じたグループは、積極的に活用すること。」 ※まずは一括で以下を説明し、終了してから相談に向かわせる。 ○「TX - assessment」評価シートを説明する。 「この評価シートは、一昨日の全体会でも説明があった通り、S A I の授業評価ルーブリックである。内容をよく読んで、①各項目に対するABC評価、②どこの段階で伸ばしたか、③とくに伸びた2項目の順番で記入する。 ※QRコードから入力もあり。忘れずに！ ※この時間中で評価が難しい場合は、持ち帰ってもよい ○ワークシート「問いのブラッシュアップ」を確認する 「前時に①～③がある程度できたグループは、裏面の“調べる”作業に入る。」 ○宿題を考える 「本時を終えると3月まで授業がないので、それまでに各々役割分担を行い、自宅で作業できることや考えてくることを宿題にする」	・豊田市職員の皆さん：生物室
展開	42分	●作業開始 ・豊田市職員の方々の元へ行きたいグループは、自分たちのタイミングで生物室へ向かう。 ・一昨日の成果発表会で感じたことを踏まえ、作業を加速させる。裏面の“調べる”作業に入る場合は、2学期に学習したことを応用する。	・次は3月になってしまうので、できる限り本時と次時でよくコミュニケーションを取り、「興味関心の洗い出し」を行うよう促してください。
まとめ	5分	●片付け、まとめ ・「TX - assessment」評価シートが完成した者は、担任へ提出する。 （持ち帰る者は、来週2月3日（月）までに提出）	・ラスト10分にさしかかったところで、改めて次回3月5日（水）までの宿題を各々決めておくよう声掛けをお願いします。

第1学年SAI

教員用 授業の流れ（班活動4/4）

1 授業実施場所

#教室

2 生徒の持ち物

筆記用具、タブレット、課題研究メソッド、SAIファイル

3 授業展開例

	時間	学習内容・発問例	教員の指導・留意点
導入	3分	●本時の目的・日程・注意事項を確認する。 「本時は、今年度最後の授業である。基本的に前時の続きを行っていくが、最後はこの4時間で見てきたグループでの興味・関心に基づき、一旦問いという形で残し次年度への引き継ぎ書（2年生で新たに担当となった先生へ）を作成することが目標である。また、春休みの時間を有効に使えるよう、各自が自宅で宿題として取り組んでくる内容を決めて終了できるようにする。」 ○次年度への引き継ぎ書「2年生で新たに担当となった先生へ」を配布する。 「このプリントを用いて、2年生で担当教員が変更になってもスムーズに引き継ぎができるようにする。本時で必ず提出を行うこと。」 ○宿題を考える 「2年生に上がるとグループでの活動が中心となるが、<u>7月には、外部の先生方から指導を仰ぐ機会が設けられる予定である。</u>4月から具体的な内容を詰めて調査や研究が行えるよう、春休みに各自でできることを決め、宿題にする。」	
展開	42分	●作業開始	・<u>波線部</u>について、現在検討段階ではありますが、2年生は夏と冬の2回、外部講師の指導を仰ぐ機会が設けられる予定です。2年生の課題研究が始まったら、まずは短期目標を7月に設定させていくつもりです。 ・内容がとん挫していないか、各グループの進捗は細かく見て口出ししてあげてください。
まとめ	5分	●片付け、まとめ ・「2年生で新たに担当となった先生へ」を提出させる（どうしても完成しないという場合は、各担当で相談・判断して提出させてください。） →回収後は、課題研究委員へご提出願います。	